

県民文化・スポーツ分野のキャリアプラン

| | |
|--|---|
| 分 野 | 県民文化・スポーツ分野 |
| 職務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 総務・企画・人事・予算経理に関する事務 ・ 情報公開及び個人情報保護に関する事務 ・ 県政に関する情報提供・県民相談・消費生活相談、消費者教育・啓発及び旅券の発給に関する事務 ・ 青少年の健全育成、ボランティア、NPO活動推進及び多文化共生社会の形成促進に関する事務 ・ 愛知県公立大学法人、宗教法人及び私学助成に関する事務 ・ 統計調査に関する事務 ・ 人権推進に関する事務 ・ 男女共同参画社会の形成促進に関する事務 ・ 文化芸術振興、文化財保護普及に関する事務 ・ スポーツ振興に関する事務 ・ スポーツ競技の普及、アスリートの育成、障害者スポーツの推進に関する事務 ・ 文化施設及びスポーツ施設の整備・管理・運営に関する事務 |
| 主な配属先 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民文化局、スポーツ局 本庁各課 ・ 県民文化局 地方機関 ・ 国・関係団体への派遣 |
| めざす職員像 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政のプロとしての誇りと自覚を持ちながら、多様化・高度化する行政ニーズに対応するため、高い調整能力と課題解決能力を備えた職員。 ・ 県民の視点を大切にしながら、多様性のある心豊かな社会実現のために、自律的に行動する職員 ・ すべての人が多様な文化・スポーツ・歴史等を享受し、これらを地域の活性化につなげるために、事業・イベント等を主体的にプロデュース・マネジメント（集客や知的財産の活用等）する職員 |
| 育成の考え方 | |
| <p><主事級（ジョブローテーション期間）></p> <p>【職員としての基礎固め】</p> <p>ジョブローテーション期間中に、本庁を含め様々な行政分野・職務分野の業務を経験し、県の仕事の全体像を把握する。また、組織の一員として自らの役割を果たすとともに、資料作成力などの基本的な能力を向上させる。</p> <p><主事級（ジョブローテーション期間終了後）～主任級></p> <p>【キャリアの軸探し】</p> <p>今後のキャリアの軸を探すために、県民文化・スポーツ分野の業務に継続的に取り組み、内部管理、事業の業務をいずれも経験することで、自らの適性を見出し、専門能力を高めていく。</p> | |

<主査級～課長補佐級>

【実務の要+グループ運営の補佐】

実務の要として主体的に企画・立案・調整を行い、困難な課題の解決に取り組み、業務遂行能力を高める。また、グループ班長の補佐としてグループ全体の業務状況に気を配り、同僚職員等の業務に積極的に協力するなど、円滑な業務推進に貢献し、管理的な立場に必要とされる能力を伸ばす。

<課長補佐級（班長）>

【グループマネジメント力の発揮】

これまでに習得した知識・経験・能力等を活かすことができる県民文化・スポーツ分野の各グループ班長として、業務推進及び人材育成のキーパーソンとしてリーダーシップを発揮して業務を推進する。

《県民文化・スポーツ分野のキャリアイメージ》

| 区分 | 県民文化・スポーツ分野 | | キャリアプラン例① | キャリアプラン例② |
|--------------------------------|---|--|---|---|
| | 異動・配属の考え方 | 必要とされる知識・能力 | | |
| 新規採用 | <p>【職員としての基礎固め】 <input type="checkbox"/> 共通口 ・複数の所属の業務に従事する中で、今後、職員としてキャリアを積んでいくための基礎力を身につける。 ・早期に本庁を経験し、県の仕事の全体像を把握する。</p> <p><ジョブローテーション期間中における、配属又は異動の考え方> 県の仕事の全体像を把握し、幅広い視野や知識・能力を習得するとともに適性を見出すため、採用後2回の異動で下記の①から③までの内容を体験できるように計画的に異動を行う。 ① 複数の局を経験する。 ② 可能な限り、採用3年目までを目途に本庁を経験する。 ③ 3ヶ所の所属を経験する。 ※異なる職務分野を経験することを原則とする。</p> <p>■分野特有■ ・関係団体等の県職員以外との業務を通じて、県民の考え方・視点を把握する。 ・国・関係団体への派遣を経験する。</p> | <p>①仕事の正確さ ②積極性 ③規律 ④チームワーク</p> <p>【期待される事務レベル】 ・担当事務に係る予算要求 ・所属の支出、物品管理 ・議会参考資料、想定質問の作成 ・小規模な普及啓発事業の企画・運営</p> | 採用所属（地方機関） | 採用所属（地方機関） |
| 主事級 (採用後7年間) | | | <p>【キャリアの軸探し】 <input type="checkbox"/> 共通口 ・ジョブローテーション期間中に身につけた基礎力を高め、新たに行う業務に応用する。 ・キャリアの軸が定まっていない場合は多様な業務を経験し、自分の適性を見出す。 ・キャリアの軸が定まった場合は、特定の業務に継続的に取り組み、自らの強みを形成する。 ・班長、主査等からの指示に基づいて幹部相談資料等の作成を行い、資料作成力や相談力を高める。</p> <p>■分野特有■ ・県民文化・スポーツ分野の業務に継続的に取り組み、内部管理部門や事業部門の業務をいずれも経験することで、自分の適性を見出す。 ・担当事務について、局内幹部への説明資料作成や説明を数多く経験し、説明力を向上させる。 ・国・関係団体への派遣を経験する。</p> | <p>①判断力 ②創意工夫 ③責任感 ④説明力 ⑤後輩育成</p> <p>【期待される事務レベル】 ・所属の予算総括 ・小規模な事業の企画・運営 ・各プランの策定業務 ・幹部相談資料の作成 ・普及啓発事業の企画及び運営 ・後輩職員からの相談に対する助言・支援</p> |
| 主事・主任級 (採用8年目から 主査級昇任まで) | <p>【実務の要+グループ運営の補佐】 <input type="checkbox"/> 共通口 ・実務の要として、グループの主要業務を担う。 ・主體的に知事相談資料や議会答弁の作成を行い、説明力を高める。 ・キャリアの軸が定まっている場合は、新たな業務を経験し、キャリアの幅を広げる。 ・キャリアの軸が定まっていない場合は、特定の業務に継続的に取り組み、自らの強みを形成する。 ・1度経験した所属(業務)を再度経験し、当該業務の遂行能力を高める。 ・班長を補佐し、全体の調整役として、円滑なグループ運営に貢献する。 ・将来の管理的立場を見据え、高度な調整業務を経験する。</p> <p>■分野特有■ ・大規模事業を行う所属で、主要業務の実施に携わり、庁内調整力に加えて、対外折衝力を身につける。 ・国・関係団体への派遣を経験する。</p> | <p>①改革・改善 ②説明・調整力 ③見識 ④使命感 ⑤人材育成力</p> <p>【期待される事務レベル】 ・局の予算・人事総括 ・大規模事業の企画・運営 ・知事相談・報告資料の作成 ・議会答弁作成 ・業務実施過程での後輩職員への適切な助言・支援</p> | <p>県民文化局県民総務課 予算・経理G ・内部管理</p> | <p>県民文化局文化芸術課 国際芸術祭推進室 事業G ・分野内の主要事業 ・大型イベント開催業務</p> |
| 主査級 | <p>【グループマネジメント力の発揮】 ・これまでに習得した知識・経験・能力を活かせる県民文化・スポーツ分野の各グループ班長として、組織力を発揮して業務を推進する。</p> | <p>①調整・折衝力 ②情報収集・活用 ③リーダーシップ ④人材育成・指導力</p> | <p>スポーツ局競技・施設課 施設G ・大型施設(体育館)の管理 ・内部管理</p> | <p>県民文化局県民総務課 総務・企画・広報G ・内部管理</p> |
| 課長補佐級 | | | <p>県民文化局男女共同参画推進課 男女共同参画G ・大型施設(ウィル)の管理 ・内部管理</p> | <p>愛知県公立大学法人へ派遣 ・キャリアの幅を広げる (内部管理・関係団体の経験) ・関係団体への派遣</p> |
| 課長補佐級 (グループ班長) | | | <p>(公財)国際交流協会へ派遣 ・関係団体への派遣</p> | <p>アジア・アジアパラ競技大会推進局企画調整課 啓発G ・分野内の主要事業 ・大型イベント開催業務</p> |
| | | | <p>県民文化局社会活動推進課 多文化共生推進室 多文化共生推進G ・キャリアの幅を広げる (事業の経験)</p> | <p>スポーツ局スポーツ振興課 調整G ・事業 ・対外折衝業務</p> |
| | | | <p>県民文化局文化芸術課 振興G(班長) ・これまでの経験を生かす (県民・内部管理・施設管理)</p> | <p>スポーツ局スポーツ振興課 企画・広報G(班長) ・これまでの経験を生かす (スポーツ・事業)</p> |

ジョブローテーション

知識・能力を習得・発揮